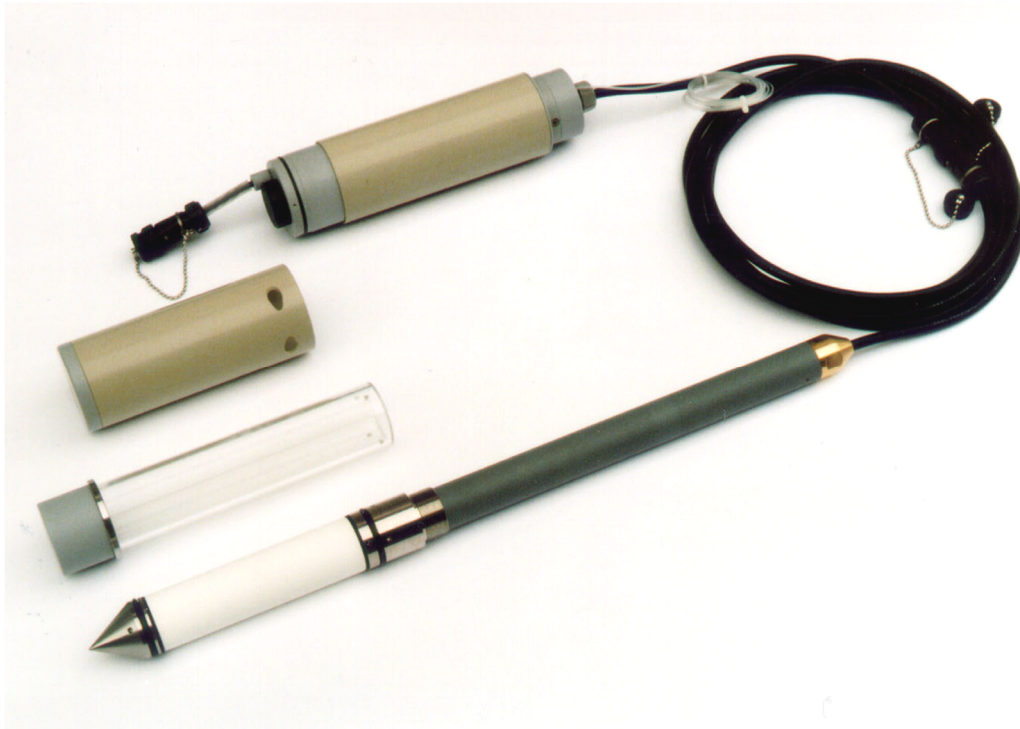


GEOLOGICAL, GEOPHYSICAL,
GEOTECHNICAL, GEOENVIRONMENT,
GEOINFORMATION SERVICES
AND INSTRUMENTS

OYO

軟弱地盤、港湾、河川堤防でのモニタリング

S & D L 間隙水圧計



<概要>

地中の間隙水圧の測定は、沈下・安定の有効応力に基づく解析を行なう上で欠かせません。

本装置はチタン製圧力センサを採用し、高精度、高感度、そして長期安定性を有する間隙水圧計です。S&DL 間隙水圧計では、専用ソフトウェア S&DL assist を用いて観測データ収録、測定条件の設定などを行ないます。

設置対象地盤は、軟弱な粘性土地盤と、ゆるい砂地盤です。その目安としては、粘性土地盤で N 値 4 以下、あるいはシンウォールサンプリングの可能な地盤、砂地盤では N 値 2 以下の地盤を対象としています。

<特長>

- 内部システムが完全に脱気水で飽和されています。
- 圧力交換器に、半導体圧カトランスジューサを用い、高感度の交換を可能としました。
- 地上のロガー部はセンサー部（埋設部）と切り離しができますので、再利用が可能です。
- パソコンにより、容易にデータの回収や測定条件の設定を行うことができます。

<用途>

- 間隙水圧の測定
- 軟弱地盤の安定解析
- 有効応力に基づく変形解析

<仕様>

■センサ部

測定範囲 : 0~350kPa、0~500kPa、0~1000kPa、
 測定精度 : ±0.2% F.S.
 動作温度範囲 : 0~50℃(凍結しないこと)
 外形寸法 : φ42mm×620mm

■データロガー

A/D 分解能 : 24 ビット
 測定間隔 : 1分~10日
 メモリ容量 : 512KB
 インターフェイス : RS-232C
 動作電圧 : 3~9.0V
 (ケーブルによる電圧降下は含まず)

電源 : 専用リチウム電池 (6V)
 または単一アルカリ乾電池×3個

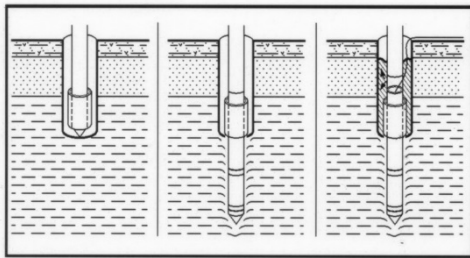
動作温度範囲 : -10~50℃

■ポーラスストーン

材料 : セラミック
 透水性 : 1.2×10⁻⁵cm/sec

■ケーブル

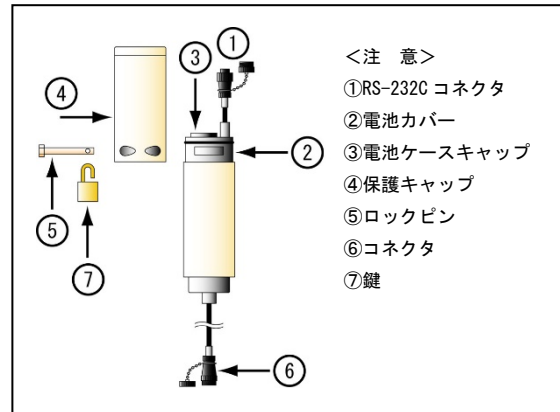
芯数 : 4芯、ベントチューブ付き
 外径 : φ8.5mm
 ※ケーブル長は50mまでが標準です。50m以上のケーブル長については別途お問い合わせください。



上図は、本器の設置方法を示した図です。

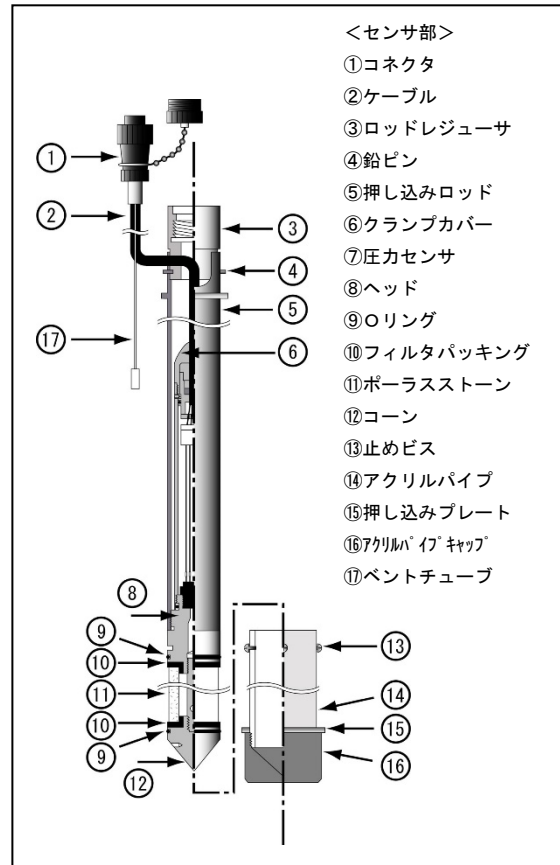
間隙水圧の観測中にポーラスストーンの目詰まりやガスの混入があった場合は、信頼できるデータを得る上で最も問題になります。

つまり、ポーラスストーンを如実に無垢のまま、ガスの混入することなく設置できるかということになります。運搬中に手で触れたり、挿入時に泥水につかることは好ましくありません。本器は透明プラスチックパイプを用いてこれらの問題をみごとに解決しました。プラスチックパイプはポーラスストーンの保護として、容易に取扱うことができるようにするだけでなく、内部を完全な脱気水で満たしていますので、ガスの混入も排除されます。このプラスチックパイプは、挿入時に孔底ではじめて外されます。



<注意>

- ①RS-232C コネクタ
- ②電池カバー
- ③電池ケースキャップ
- ④保護キャップ
- ⑤ロックピン
- ⑥コネクタ
- ⑦鍵



<センサ部>

- ①コネクタ
- ②ケーブル
- ③ロッドレジュース
- ④鉛ピン
- ⑤押し込みロッド
- ⑥クランプカバー
- ⑦圧カセンサ
- ⑧ヘッド
- ⑨オリング
- ⑩フィルタパッキング
- ⑪ポーラスストーン
- ⑫コーン
- ⑬止めビス
- ⑭アクリルパイプ
- ⑮押し込みプレート
- ⑯アクリルパイプキャップ
- ⑰ベントチューブ

<注意>

- 1) 本器を設置する場合、ロッドレジュース③と押し込みロッド⑤とを接続する鉛ピン④で固定し、押し込むことにより鉛ピン④が切断し、本器を地中に設置することができます。回収用として使用する場合は、押し込みロッド⑤とロッドレジュース③が一体となったものをご使用して下さい。
- 2) 間隙水圧計センサ部は、凍結・直射日光による温度変化等に注意してください。

応用地質株式会社

- 製品に関するお問い合わせは、計測システム事業部・サービス開発部にて承ります。
- 仕様は製品改良のため、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。



JQA-2772

- 計測システム事業部 サービス開発部
 : 茨城県つくば市御幸が丘43番地 電話029-851-5026
 : https://www.oyo.co.jp/ E-mail: seihin@oyo.jp
- ホームページ
- 本社 : 東京都千代田区神田美土代町7番地 電話03-5577-4501
- 北海道事務所 電話011-200-9522 中部事務所 電話052-793-8321
- 東北事務所 電話022-237-0471 関西事務所 電話06-6885-6357
- 北信越事務所 電話025-274-5656 四国事務所 電話089-925-9516
- 東京事務所 電話048-652-0651 九州事務所 電話092-402-0840

■ テクニカルサポートセンター TEL 029-851-6564
 受付時間 平日 9:00~17:00

- 土日祝祭日、創立記念日、お盆期間および年末年始はお休みさせていただきます。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規定並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。